

## JR東海は大丈夫か！？

過去の飯田線、高山線脱線・転覆事故を教訓化し  
しっかり労働組合と協議せよ！

本部は昨年12月25日、JR東日本・羽越線で「いなほ」号が脱線・転覆した事故に関して以下の申し入れを行ないました。この事故は、不幸にも5人が死亡、33人が重軽傷を負うという痛ましい重大事故です。

原因は現在調査中ですが突風（ダウンバースト）との見方が強まっているようです。

JR東日本は6日、脱線事故に関する「原因究明・対策検討委員会」を設けると発表しました。国土交通省も、鉄道沿線での風の観測態勢や強風時の運転規制の在り方を協議するため、気象の専門家や鉄道事業者でつくる「鉄道強風対策協議会」の初会合を13日に開くことを明らかにしています。

さらに、JR西日本は6日、羽越線の脱線事故を受け、在来線を対象に運行を停止する風速を秒速30km/hから25km/hに引き下げるよう運行マニュアルを改定しました。

以上のように、JR各社において、羽越線の脱線・転覆事故後、強風に対する対策などが実施されています。

JR東海においても、早急に協議の場を設け協議するよう下記の申し入れをしました。

### 記

1. 羽越線の列車脱線・転覆事故に対する会社の認識を明らかにすること。
2. JR東海の現在の強風に対する対策（在来線・新幹線）を明らかにすること。また、羽越線の脱線・転覆事故を受けて以降の対策を明らかにすること。

JR東日本・羽越線の列車脱線・  
転覆事故に関して申し入れ！